

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	1-10号大門今宮線交差点改良事業	会計	一般会計	事業No.	568	施策順No.	44-002
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-11-6		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	44 交通機関と道路の充実		事業期間	開始	21	終了	22

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	歩行者及び通過車両						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	歩行者数:人/日	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		自動車交通量:台/日			1100	1100		
	意図	安全が確保される。						
対象をどう変えるか	進捗率: % (当年度までの実施済額/全体事業費×100)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
				50	100	100		A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		当初計画では平成23年度までに完成予定だったが、事業費を前倒して平成22年度で完了させた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	大門今宮線の高羽町3箇所交差点について、右折車線の設置を含め交差点改良を実施する。 現在の大門今宮線は、土地区画整理事業(高羽地区)により施工したものであるが、近年交通量が増大し交差点を起点とする渋滞が発生している。交通混雑に伴い歩行者の危険性も高まっており、渋滞の解消を図ると共に、歩行者の安全を確保する。 交差点改良 3箇所 「高羽合同庁舎」、「高羽町東」、「松洞橋」		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	・交差点改良(高羽町東・松洞橋) 2カ所 右折車線設置 施工延長L=234.5m 完了	交差点改良箇所数	2カ所
23年度実施計画			

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金		32,615	32,615		
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		27,210	27,210			
計(A)		59,825	59,825	0		
正規職員所要時間			200			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			715			
トータルコスト A+B			60,540			

(国)社会資本整備総合交付金(活力創出基盤整備)(5.5/10)

4 事業に対する市民や議会の意見

・高羽、今宮地区を中心に交差点改良要望は非常に強く、要望書も提出されている。 ・羽場大瀬本線の松川大橋～北方までの完成目標がH24年度とされており、飯田インターから市街地へのアクセス道路としての機能充実が求められている。
---

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	交差点内の事故が多く、危険な状況のため、整備することにより事故の軽減が図られた。		
	後期に向けた課題	完了		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	羽場大瀬木線が開通する前に完了したことにより早期に効果が発揮できた。		
	後期に向けた課題	完了		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	高羽町土地区画整理事業で整備されており、既存の車道路盤を活用したため、コスト削減を図った。		
	後期に向けた課題	完了		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	幹線市道の道路改良であり、市が事業主体である。		
	後期に向けた課題	完了		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	市が管理する幹線道路である。		
	後期に向けた課題	完了		
全体を通じて	4年間の振り返り	計画より1年早く完了したため、交通量の増大による安全確保と利便性の向上が早期に確保できた。		
	後期に向けた課題	完了		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------